

## 第6回 那賀川水系大規模氾濫減災協議会

1. 日時：令和2年5月13日(水) 10:00～11:30

2. 場所：Web会議にて実施

### 3. 協議会構成員

阿南市市長 表原 立磨

小松島市市長 ー (代理出席：政策官 中西 洋一)

那賀町町長 坂口 博文

徳島県県土整備部部長 貫名 功二

徳島県南部総合県民局政策防災部部長 木下 修一

徳島県南部総合県民局県土整備部部長 正木 昇

徳島県南部総合県民局県土整備部(那賀)副部長 森野 克也

徳島県企業局総合管理推進センター所長 古井 伸明

徳島地方気象台台長 明田川 保

国土地理院四国地方測量部部長 小枝 登

那賀川河川事務所所長 山本 卓男

オブザーバー

四国電力株式会社徳島支店技術部次長 八嶋 和幸

### 4. 配付資料 次第、出席者名簿

(資料1) これまでの経緯

(資料2) 那賀川水系大規模氾濫減災協議会規約

(資料3) 令和元年台風19号による被害状況

(資料4) 利水ダムとの協議について

(資料5) 取組方針改定について

(資料6) 概ね5年で実施する取組の達成状況

(資料7) 令和元年度各機関の取組事例

(資料8) 令和2年度重点目標

(資料9) 那賀川河川事務所からのお知らせ(出水期前の再確認)

(資料10) 新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難の考え方

(資料11) 昨年(令和元年)の東日本台風を踏まえた対応(特別警報変更後の情報提供等)

(資料12) 流域治水プロジェクトの検討について

### 5. 議事

1) 利水ダムを活用した洪水調節の強化、概ね5年で実施する取組の達成状況、令和2年度重点目標、新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難の考え方、昨年(令和元年)の東日本台風を踏まえた対応(特別警報変更後の情報提供等)、流域治水プロジェクトの検討等について情報共有を図った。

2) 協議会員からの意見等

資料毎に事務局説明後、協議会員から意見等を求める。

## 6. 主な意見

- ・避難について、様々な発信ツールでの情報の発信や市民を受け入れる施設側の仕組みを体系化させ、適宜正しく情報を発信していく必要がある。また、混乱を招かない情報発信のあり方について深掘りしていく必要がある。
- ・避難について、方法も大事だが、いかに住民に正しく伝えるかということが一番重要となる。
- ・まもなく来る出水期において重要となるのはダムによる洪水調節になると思うが、今年においてもできる限りの洪水調節をやっていただきたい。
- ・那賀川上流域での、河川監視カメラの設置の要望などの意見が出された。

## 7. 結果等

- ・規約改正、取組方針改定について了承。
- ・令和2年度重点目標について、各機関において進めていく。
- ・新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難の考え方について、協議会としてとりまとめ住民等への周知に活用する。

以上